



BIWAKO SERIES OF POKER

初めまして、この度滋賀県初となる大会『BSOP』主催の西村と申します。全国のポーカーを愛する皆様に是非お読みいただけますと幸いです。少々長くなりますが、この大会、そしてポーカーそのものに対して BSOP を開催しようと決心した想い、願いについて触れさせていただきます。私は、幼少期からサッカーに明け暮れ、高校進学から寮生活で打ち込んだほど、サッカー命といった人生を歩んできました。自分でいうのもなんですがそこそこ選手としてもいいところまで結果を出し、自身の選択によってはプロとしても活動できたかもしれないところまで日々全力で取り組んでおりました。しかし度重なる怪我などもあり、最終的にはプロにもなれず、サッカー選手としては結果を出せずに終わった過去があります。しかし、結果以上に得られたものも多く、その最も大きなものがサッカーを通じてできた仲間であり、努力し続けたという苦楽の経験でした。これらは何にも変え難く、今後の人生においても財産であると感じています。そうした青春時代から年月を重ね、自分で起業をし、いくつかの事業を今日まで行ってきました。しかし、サッカーに打ち込んでいた頃のような、熱く、夢中になるようなものにはなかなか出会うことがなく、月日が経つことだけの日々。そんな中、ふと出会ったのがポーカーです。最初は正直、ポーカーと聞くと悪いイメージ、お金のこと、何か悪いことをやってるんでしょ、といった印象も強く、深くは踏み込まないようにしようというのが本音でした。しかし実際触れてみた場所で感じたものは真逆で衝撃的なものでした。いい歳した大勢の大人達が、全力で笑い、悔しがり、子供の頃の勉強以上に反省し、座学に励み、向上心を持って取り組む姿がありました。その時に感じた素直な気持ちが『大人になってもこれだけ夢中になれるものがあるんだ』だったことを強く覚えています。その頃から自身もさらにポーカーにハマり、関わるようになりました。国内外の大型大会などにも参加し、ポーカーに熱中する日々のはじまり。また、参加するからには優勝したい、トロフィーが欲しい、などの目標も自然と芽生え、自分が最初に見た光景を自らが行動し、プレーなどを見つめ直す日々。気付けば周囲の人たち以上にポーカーに没頭していました。そしてある時にふと気付いたのです。「今までの人生で一番熱く夢中になっている」と。この魅力はどこからきているのか、理由は何なのか。答えは凄く単純でシンプルなものでした。一番はやはり仲間です。気付けばポーカーを通じて沢山の仲間ができ、結果を出したいという気持ち以上に、仲間と会える楽しみ、喜びのために、様々な場に顔を出し、一緒に笑い楽しむ時間を過ごしたい。はっきり言ってこの一つだと。サッカーに明け暮れていた頃と同じで、敗者が勝

者を称え、喜びを分かち合う。この素晴らしさを再度体感したときに、全てを決心しました。「この気持ちを形にしたい」。こうして BSOP を開催するきっかけとなりました。もちろん、これはプレーヤーに限ったことではなく、ディーラーやスタッフ、設営や会場、ポーカー全てに携わる人々を指します。どこか一つでも欠ければ大会は成立しません。そして、これらの全ての方々とも気付けばご縁いただき、繋がり、今に至る。この BSOP は繋がった全ての方々の助けから実現しました。しかし周囲には無謀なことを言い出したと最初は言われたり、中にはどうせ実現しない、失敗するよ、など厳しい声もありました。

が、正直氣にも留めずどうでも良かったです。僕が実現したかったことは、自分がポーカーを通じて感じたこと、得られたことを集約し、形にすること。それだけ。なので、この BSOP ではそんな思いを全ての部分にぶち込んでいます。細かな説明はここではいたしません。ですのでテーマは二つ。1. LET'S POKER PARTY 2. 言葉はいらない、体感せよ

です。ポーカーを全力で楽しんでもらうこと、会場で楽しき、悔しき、喜び、演出はもちろん、プレーヤー、ディーラー、スタッフ、設営、会場に関わる全員がこれらを感じ、ポーカーを更に好きになること、そして今後ポーカー界が益々発展する事、これに尽きます。初開催って問題やトラブルも多々あると思っています。何なら関わっていただく全ての皆様にご迷惑をかけることも百も承知です。ですので先に謝っておきます。申し訳ございません。でも、この BSOP を開催する事、ではなく、開催した先に意味があると信じています。～やってよかった～は、正直自己満足だと思います。開催されて良かった、行って良かった、関わって良かった、何なら大会やってみたいでも構いません。皆様がこうした思いになる大会になれば本当の意味で成功です。主催として相応しい考え方かは分かりませんが、僕はポーカー界が盛り上がるなら他社競合みたいな考え方もなければ、持ちたくもないのが本音です。どこのポーカーハウスに行っても、色々な大会の告知があったって良いし、大会間がもっと手を取り合ってもいいとも思います。何故なら、僕がプレーヤー目線ならそんなことって関係ないし、どうでもいいって思うから。ポーカーを全力で楽しめる空間が大切だと思うから。かといって、競合他社、他トナメが手を取り合ってないとか言ってる訳ではないですよ？誤解されたくないのでそこはちゃんと補足しておきます。めちゃくちゃ長文になりそうなので無理やり締めようと思いますが、今後のポーカー界の発展、新規プレーヤーの増加、ポーカーを通じた地域活性化、福祉貢献などポーカーには無限の魅力と可能性が秘められていると感じています。その形を精一杯準備して皆様のご参加の準備を進めています。ですので、開催当日、一人でも多くの方々に足を運んでいただき、楽しい空間で笑顔あふれる時間を過ごして頂けたら幸いです。僕自身もまた会場で一人でも多くの方とポーカーを通じて繋がりたいですし、皆様同士もたくさん繋がっていただきたいです。是非とも共にポーカー界を盛り上げていきましょう。長文にも関わらず最後までお読みいただきありがとうございました。

BSOP 代表 西村